

## まつど未来づくり会議 会議録

分科会名：都市と産業分科会（第3回）

開催日時：平成21年9月29日（火）15時～18時

開催場所：別館地下1階研修室

出席委員：岩橋秀高（分科会長）、鎗田弘子（分科会副会長）、尾崎順邦、高橋清、中臺弘志、藤田宗晴、三宅治美、山下烈、横山元、丸田英二、越智章浩、宇野荒樹（敬称略、順不同）

事務局：木内博和、錦戸茂尚（政策調整課）

### ■分科会長挨拶

- ・ 今日で3回目の会議で、目指したい姿の宣言文の検討を行います。骨格を固めるときになりました。1テーマあたり30分程度で進めたいので、よろしくをお願いします。

### ■事務局説明（本日のねらい・進め方の確認）

- ・ 話し合いのルールの再確認
  - ⇒全ての意見に価値を置く
  - ⇒人の話をよく聴く
  - ⇒想いや考えは全体で共有する
  - ⇒時間厳守
  - ⇒未来に焦点をあてる

### ■「目指したい姿の宣言文」素材検討

- ・ 各政策について、自分たちが何を実現したいのかを念頭に置きながら、「目指したい姿の宣言文」を構成する言葉の素材を考える。
- ・ 具体的には、目的（「…に向けて」「…のために」）、手段（「…を通して」「…することで」）、成果（「…を実現する」「…を生み出す」）の観点で自由にキーワードを書く。
- ・ 個人で作成した素材を模造紙に貼り出し、全員で共有する。

### ■検討する政策の選定・順序の確認

- ・ 件数は少ないが、きちんと働くことができるようにするのは大切ではないか。
- ・ 政策16と17は同じような意味合いですね。一緒に考えて良いんじゃないでしょうか。
- ・ 政策16と17と18を優先することで良いんじゃないですか。

- ・ 政策16と17の2つを一緒にして検討したらどうですか。
- ・ でも、宣言文は一つひとつですよ。
- ・ 今日、最低でも3つの政策の宣言文を作って、残りは皆さんから出してもらったキーワードを基に事務局案を作って、次回見てもらうことになります。事務局で作ったものは決定ではありません。今日、全部できれば一番良いのですが。
- ・ じゃあ、順番に3つやりますか。

## ■ 「目指したい姿の宣言文」の作成

### <政策16の「目的」の検討>

- ・ 豊かな産業と社会というのをくっつけて、「豊かな産業社会に向けて」としたらどうですか。
- ・ 若者のためにとありましたね。「若者に魅力ある松戸のまちづくりにに向けて」としたらどうですか。
- ・ そうすると、高齢者はどうなるのですか。
- ・ 「若者に」がなくても、「魅力ある」があれば良いかもしれませんね。
- ・ そうすると、意味が変わってしまうのではないのでしょうか。この意見を出した人は、あくまで「若者に魅力がある」ということなのでしょう。
- ・ 「若者」とつけた方が、将来性を感じます。
- ・ 「若者」でなく、「次代」、「次世代」はどうですか。
- ・ 良いこと言うね。
- ・ 無難な言葉だね。
- ・ 「次世代」は限られるから、もうちょっと長い間を表す言葉が良いですね。
- ・ 目標としては、10年後くらいを考えています。
- ・ 「次世代」が良いですかね。
- ・ 若者が松戸に魅力を感じないと来ない。高齢者は松戸の良さを知っているから出ていかない。
- ・ 「次の世代を担うもの」としたらどうですか。
- ・ 若者だけ担って、高齢者は担わないわけではないでしょう。高齢者も担えるようなまちでないといけないでしょう。
- ・ 「若者」と出したところに意味があるんでしょ。定着してもらいたいとか。
- ・ 「若者」には、わくわくするものがあるんですよ。
- ・ どちらにするかは、おいておきましょうか。

### <政策16の「手段」の検討>

- ・ 地域産業ですから、商業だけではないと思います。「松戸駅前」だと商業だ

けになってしまいます。

- 細かいと局所的で宣言文には向かなくなってしまうし、大きく括るとありふれているように思えます。
- 考え方としてはそれで良いと思いますが、具体的に何をやるかなわけでしょう。
- 今までだったら、行政さんしっかりがんばってという感じだったでしょうが、そうではないわけでしょう。高齢者が地域にどんどん帰ってきているわけだし、企業が地域に入るとかということもあるので、そういう人たちの知恵とか力を入れて、行政と市民と事業を実際にやっている人たちが一体となって、常にものを考えていく。継続的に話し合える場があり、具体的な課題も解決していけるのであれば、もっと市民もわくわくすると思います。
- 官民業の他に、大学の学生も入れたい。
- 産学官民ですかね。
- 矢切を農業と観光と歴史を結んで活性化したいと思います。具体的には、矢切高校を情報センターにしたいです。
- 矢切地区には、空いた土地、農地があるので、都市にはしてしまいたくないですね。
- 矢切地区についてのプロジェクトは今あるのですか。
- 何年前に、矢切耕地の構想というのをやりました。開発ではなく、農業を主体に何かやろうかということで、農産物の直売所を作ったり、ハードの整備というより農家の方が活性化できるような整備をした方が良くないかということでした。
- 農業を主体にしたプロジェクトはあるのですか。
- 基本構想策定時まではありました。
- 都市整備本部では、農業はできないんです。
- 実際には農業者と行政がやっていると思う。
- 行政がやるとどうしても縦割りになる。それは、事業者や市民には関係がないことですから、そこに入っていく必要はありますよ。
- 矢切というと、野菊の墓とか、矢切神社とか、有名な柳原水閘門とか歴史的に有名なところもあります。それと、農業と観光とを結びつけ、観光スポットに良いかなと思います。前回、ブルーベリー農園が観光地になっているのを聞いて思いついたんです。
- 大きいスローガンがあって、その下に、今言った矢切とか小さいスローガンがあっても良いのかもしれない。
- 具体的なこととなると、この計画の下位の計画である実施計画に入れることになります。もちろん、この提言に入れても結構です。

- ・ 総括的なものは宣言文として、例えばこういうものがあるというのは入れられませんか。
- ・ 宣言文は作りますが、説明として例えば矢切地区のこういう姿ということはどうできるでしょう。
- ・ その中に必ず入れたいですね。
- ・ 矢切高校は壊すのですか。
- ・ 県立高校なので、基本的に県が決めることなのでわかりません。ただ、そうは言っても、松戸にある財産ですし、意見は言えると思います。
- ・ 柴又の帝釈様見て、寅さん見て、矢切の渡しで渡ってきて、あの堤防のところに江戸川博物館を建てる話を国交省に話しているけど、実現するかわからない。それができると、矢切から野菊の墓までの見学コースができるからやって欲しいと言っているが、お金がかかるのでどうなるかわかりません。
- ・ 矢切の渡しの船着場から矢切高校までは、歩くとどのくらいあるのですか
- ・ 結構ありますよ。車で通るには道が狭いです。高低差もあります。
- ・ レンタサイクルを整備した方が良いと思います。
- ・ 今は、PRが少ないですね。
- ・ 最初は、松戸市立病院を持ってきて、南松戸駅を作るという話もありました。
- ・ 農地があるので、乗り物に乗らずにできるだけ歩いて欲しい、と私は思います。便利にしない方が良いです。
- ・ 「まつど農業振興プロジェクトを立上げ、江戸川に美しい大規模複合農業を実現する」という意見が出ています。
- ・ 江戸川のどこに農地を作るのでしょうか。
- ・ 河川敷です。
- ・ 河川敷にはできないですよ。
- ・ ゴルフ場くらいですか。
- ・ 今、ゴルフ場もできるだけ撤去させるようにしています。あそこに池を作って、魚を増やすんです。魚がいなくなっているのです。
- ・ 市民が参画してやろうというだけで、100人近くが集まってわくわくできるのはすごく良いことだと思います。こういう場を色んなプロジェクトで継続して、市民や行政のアイデアを入れることで、より具体的で市民がわくわくできる場ができていくと思います。そういう場の中で、目的の実現を図っていく仕組みが、これから非常に大事だと思います。行政さんお任せで、できなければ行政は何をしているんだという考えは時代遅れです。
- ・ 先ほど、「継続的な取り組みにする」という表現もありました。文案を作ってみましょうか。「産・学・官・民の連携を継続的な取り組みにして」というのはいかがですか。

- ・ 官が協力しないと連携がなかなか難しいです。
- ・ 国は相手にしてくれないし。
- ・ 江戸川は国が管理しているから、市だけではどうしようもない。
- ・ 江戸川管理事務所は野田にあります。こんなに県や市が協力しているところは珍しいそうです。

#### <政策16の「成果」の検討>

- ・ 成果が活性化というのは、どうなのだろう。
- ・ 目的は、若者に魅力のあるまちづくりのためで、成果はそれに結びつくことが出てこないとおかしい。
- ・ 目的の中で、商店街の活性化があるが、今、商店街が空洞化してシャッター通りになっているという問題があります。これをどうするか考える必要があると思います。大型店にお客を取られて、個別の商店は売上げがどんどん落ちて、やめています。その1つの理由は、従来型の商売のやり方、地域の在り方にあると思います。狭い地域に小さい店がいっぱいあるということです。途中駅でみんな買い物を終わらせて帰ってきてしまい、地元で買わなくなりました。よく言われることは、松戸の人は松戸で買い物せずに、みんな柏や北千住に行くということです。松戸でボックスヒルに行くと、男性のものは売ってないです。柏にあれだけ人が集まっているということは、収益は相当負けているのではないかなと思います。ただ、松戸の駅だけが活性化すれば良いのではなく、最寄りの駅の在り方をもう少し考え直さないといけません。自分が住んでいる家の近い駅で、シルバーカーやベビーカーで、買い物できたら一番良いと思います。それを入れて欲しいです。高齢社会だし、弱者への手立てにもなるし、併せて、商店の活性化にもつながるのではないのでしょうか。
- ・ これの一番大きな原因は、地元に住んでいる人の交流が今はないことです。昔は助け合っていました。今はないでしょう。アパートに引っ越してきても、町会に入らないという人もいます。あと、自動車社会になったことです。この前、三郷に行ったら、駐車場3000台が満杯でした。
- ・ そういう人は、越谷レイクタウンができたら行った人でしょう。
- ・ 若者が松戸に来て、買い物する魅力はあるのでしょうか。結果的に、三郷とかにどうしても行ってしまふんです。
- ・ でも、三郷に行った人たちはあまり買ってないのではないのでしょうか。
- ・ いや、買っています。
- ・ 若い女性はお金持っているから買いますよ。
- ・ 女性は旦那さんのものより、自分のものをまず買いますから。

- 若い人は貯蓄なんてしないで、どんどん買うんです。われわれ世代は、まず貯蓄だけ。
- 若者に魅力のあるまちというのは、仕事があるということと、若者同士の交流の場があるということ、若者は工場で働きたいという人ばかりではないので、ソフト的産業があるということかな。そういうものが松戸には少ないということでしょうか。そういうものがもっとできれば、松戸に帰ってきてくれるのでしょうか。
- 今の若者は、買い物に行っても、買い物だけではなく一日過ごします。
- 難しければ、全体の話と商業の話を分けて考えてみますか。提言は2つできても構いません。
- 大型ショッピングセンターは欲しいものを探せます。松戸は欲しいものがあちこちにあり、かなり時間をかけないといけない。要するに、商業集積度が低いと思います。だから、ファッション通りとか、〇〇街を作ると、魅力があると思います。秋葉原は家電が集まっていて、あそこに行けば絶対買えると思うから行きます。松戸で買わないのは、松戸の家電屋では満たされないからです。それを解決しない限りは、地域の商業は永久に駄目だと思います。それを解決するには、まちづくりの考え方を変えて、重点的に松戸のここに行けば買えるなど、集積度を高めるまちにすれば良いと思います。
- 松戸の現状を言うと、最寄品は近くで買えます。買回り品は、松戸駅になれば柏や都内に行く傾向があるようです。
- 今の若者は、トイレトペーパーは安くても良いが、こだわっているものとはことんこだわって探します。そういう世代の要求を満たすのは、とても難しいと思います。
- 若者も、独身と家族がいる人では購買意欲はまるで違います。柏は完全に若い方をターゲットにしています。三郷にできた商業施設は、小さいお子さんがいる人たちが来るのを目指しています。どっちが良いのかな。
- 子供連れの人が松戸の駅に行きますか。車に子供を乗せて、多少遠くても、専門店街みたいなどころに行ってしまう。それは仕方ないと思うのかどうかです。大型電気店があつて、まちの小さな電気屋が成り立たないという現実があります。ボックスヒルなんかに行っても、例えばある階にいけば電気関係のものは全部足りてしまうというようなものがないのです。すると、ボックスヒルでは間に合わないから、柏あたりに行けば100mくらいの範囲でほとんど手に入ります。
- 品ぞろえが豊かで、たくさん種類があります。
- 先ほどDマートに行ったら、電気屋が撤退していました。やはり売れないんですよ。

- せっかく駅のそばにあれだけのビルがあるのだから、何か活かせる方法があるのではないでしょうか。
- 今は、何でもここに行ったら揃っているところがある。だから、三郷にも人が行く。何でもあるんです。だから若い人が行くのです。経営体系がよくできていて、店員はほとんどいない。松戸に作るといったら場所がない。
- 古いまちはそういう欠点があるんです。
- 地元商店街がなくなってしまう。
- 松戸だけにあるようなものを特化しないとだめだろう。
- 松戸は、中年に特化したらどうですか。渋谷がダメになったのは、若者中心に特化することでまち自体がだめになったからです。高級デパートは熟年の方、特に男性をターゲットにしたところは、良くなってきたという話も聞きます。
- 新宿の京王百貨店がそうです。小田急と競合していて、あるときから中年男性のファッションをターゲットにしたんです。
- 京王は昔から買いやすいデパートなんです。
- 新宿という土地柄、今まで若者中心にやっていたんですが、どうしても伊勢丹などと競合してしまいます。京王はそれで再生したという話をこの間やっていました。
- 中年向けですね。京王は。
- 市場はどうですか。松戸市に、北部市場と南部市場がありますが。農業をやっている人から聞くと、市場は今、下がっているようですが。
- 実際は、農業はほとんど直売です。市場を使わず直売していて、中卸しはしません。空洞化していて、市場という機能は松戸ではなくなる可能性があります。
- 市場は空く可能性があるんですか。
- あの土地は民間の所有です。
- 今は、大型店は直接取引で、市場を通しません。流通が変わってきています。
- 市場で小売りまでやったら良いのではないですか。
- 松戸は商業では負けるのなら、農業に特化したらどうですか。地産地消ですか。
- 基本的には地産地消でやっています。どういう状況なのか聞いてみたら、野菜関係の青果物の価格が下落しているそうです。理由は、中国とか海外からの輸入です。だから、ほとんど立ち行かなくなっているようです。土地は相続税が免除されているが、所得が低く、魅力がないです。さらに、天候に左右され、リスクが高いのです。観光農業という点では、梨、いちごをやっています。私、「現産業が続けられるために」とキーワードを作っ

いましたが、農業をやってらっしゃる方々は、松戸に団地ができる前から地場でいらっしゃる方で、松戸を本当のふるさとのように思っている方々です。工業団地も昭和40年代に出来上がって、誘致して、その税収で松戸市はインフラ整備をやってきました。その方々が、大型店が来ることで、消えてしまう現状もあるわけです。農業も商業も工業も全体的に、これから10年後、そういったことをどうしたいのかなというところに興味を感じました。

- 松戸という、首都圏の中での位置を考えると、特産品振興を目的にした方が良くはないでしょうか。住んでいる人たちは高齢化していくので、市内各駅周辺商業地の活性化は、これから10年大事なことになっていくのではないかと思います。年取ってから、松戸らしい品のあるまちを保つためには、地域の活性化が一番良いと思います。松戸にはいろいろ良いものがありますよ。
- このメンバーに商業の方はいるのですか。商業の方の現場の意見が聞いてみたいです。
- そういう人はこの時間に出て来られないです。
- 個人商店は難しいです。売れない。だから、シャッターを閉めちゃう。
- 私がある方に聞いたことなのですが、本当か嘘かわかりませんが、松戸の駅前の商店街の人たちは、テナントを貸していて自分たちは上に住んでいるから、商業で食えなくても良いという考えの人が多く聞いたことがあります。
- 松戸市の古くからの人は、固定資産をあちこちに持っている人が多い。暮らしには困らない。
- まつど祭りでも分散して、協力してやろうという気持ちにならないと聞いたことがあります。商業の現場の方にそれが本当か聞いてみたいと思ったのですが。
- ある程度生活が保証されれば、それで良いではないかという思いをしまい、だから松戸はよそからくると住みにくいと言われるのです。
- 今年はお祭りがあるでしょ。お祭りが盛んになることは、軍事的な意味もあるんですよ。愛国心とかが出てきます。日本の国を守るのは、日本だという考え方ができてきたのだと思います。アメリカの世話になってはだめです。それは関係ないけど。
- ちょっとその話は置いておきましょう。
- これはおおまかなスローガンをつくるのですよね。
- そうです。大きいテーマです。
- 今、色々出た話を聞いていると、農業、商業、生産とみんなばらばらで松戸の将来のためにどうするか話し合ったことがあまりないのではないかと思います。

いました。国の政策にも問題があつて、農業は一般の人はできなかった。農家以外の方が魅力を感じても入っていけなかった。消費者の方からこういうものが欲しいと言い出して、それを作った農家が今、良くなってきた。縦割りの農業をなくしていかないといけない。農産物を作る人は作る側というのではなくて、作る人と、売る人と、加工する人が一体となって知恵を出しあえば今までになかった新しいものを松戸で売り出していけるのではないかと私は思います。

- 農業を産業化しないとだめです。そういう動きも全体的には出てきていますね。農業を企業化するという動きがあります。
- そういうことを率先してやったところが、生き延びていく。松戸でそういうことを率先してやっていったらどうかな。
- 千葉大の園芸学部で何かできないのだろうか。
- 商業よりも、それが松戸の活性化につながるかもしれない。
- 居酒屋の和民は、老人ホームもやっていて、そこで出す食事は、自分のところの農園で作ったものを使っている。
- そういうところに、松戸の農地でやるように契約してもらったらどうか。
- 病院の経営者は医者、福祉は経験者というように、経営の素人がやっている。経営のプロがやると変わるかもしれない。
- ものづくりの生産の思想、コストダウンの考え方が入っていけば、儲からない福祉で利益が出るかもしれない
- 銚子の病院の例もある。病院に行政が入って行って医療が崩壊した。
- 個別で考えると、ばらばらの提言になってしまう。産業全体で考えた方が良いのではないですか。
- 行政の人の意見も聞きたいが、行政だけで考えるというのはいろいろ悩んでいるのではないかと思うんです。
- 行政だけではもう行き詰っているんです。
- あえて、そこはコメントしません。
- 工業は、松戸市では必要がないと思っているのではないか。もう住宅が周りにたくさんできて、都市になってますし。
- 商業もそうです。もし、大型店を誘致するという話になったら、うちはいらないのかということになります。
- 農業にいたっても、緑地は必要だけど農業はいらないかと思っているのではないかと思います。
- 松戸は何によって成り立っているのかと考えると、いろんなことを言っても財政収入がないと何もできない。それが、この会議の隠されたテーマだ。それをやらないと、いくらきれいな絵を描いても実現できない。

- 人を集める魅力ある街にするには、大型の商業地が1つあるかないかで他市からの人の流れが全然違う。
- 馬橋東口は、狭い昔からの道でバスが入れない。小さい店が何軒かあるが、商売なんか儲からなくても良いという考えか、儲かっているのは、居酒屋くらい。まちづくりと併せて商店の活性化をやるにはどうしたら良いのかと思います。もう少し今風にまちを変えていかないとイメージがだめだと思います。建物が50年前、100年前のままであるので。南柏の東口が変わりました。かなり空地もありましたが。今、馬橋にはほとんど空地がありません。だから、区画整理は難しいと思うが、小さな商店を一か所に集めて、活性化させる必要があると思います。
- 例えば、商店街が各駅にあります。共同仕入れをしてメーカーと価格交渉するという発想をもっとこれからやっていく必要があると思います。1つの商店が自分のところだけ考えていたのでは良くならないですよ。そういうことを考えるプロジェクトチーム等の場がないと、いつまでたってもみんな個別なんですよ。そういう場がないと、行政としても政策的に手を打つ余地がないですよ。
- そうです。実際に、1商店1事業者をコントロールするというのは、行政としては難しいです。産学官民という連携も必要ですが、それぞれの商店会の中の連携もできればなあと思います。
- 工業は結構連携していますよ。
- 空き工業団地はないですよ。必ずどこか入ります。しかし、行政ではコントロールできません。
- 製造から物流に変わったのは、製造しづらくなってきたからです。音がうるさいのはだめですし、においはだめだし、物流なら広い道路なのでトラックは通れます。北松戸工業団地は、基本計画で取り払うとなったので引っ越していった。
- 製造業が成り立たないのは、入居した当時は、江戸川の土手が見えて、畑と田圃しかなかったのが、多少音が出ようが関係なかったが、今はちょっと音が出たらもうだめだからです。
- 昔は、工業専用地域の隣に準工業地域があり、緩衝地帯になっていました。今はそれが住宅になってしまいました。
- それは市の行政が悪いからだ。計画行政をやらないからだ。
- 過ぎたことを今言っても仕方ないね。
- ということで、この先どうするか考えましょう。
- 商工会議所は全然協力しないのですか。
- 会議所自体に力はないです。

- ・ 工業会は親睦会みたいなもので、それぞれが独立企業だから、お互いにどうしようということにはなりません。
- ・ 若者に魅力のあるまちづくりとは、若者を中心に立てて、高齢者が若者をサポートすることです。まだ元気なうちは我々の力が余っているわけです。高齢者世代は、年金がもらえればそんな高い給料はいらないわけです。我々が手伝うことで、我々は生きがいできて、松戸市は若者が中心になってどんどん発展してやりがいできてくる。そういう相互の助け合いの関係ができていると非常に良いと思います。そう考えれば、農家は人手不足であきらめているところがある。収穫したりなど、高齢者の力でできるのではないかと思います。年代間の連携、何にしても「連携」がキーワードになると思います。
- ・ 農業の人が働き手を欲しいのは、忙しいときだけなんです。シルバー人材センターのように、行政、NPOが人材派遣業をしたらどうでしょうか。短期的に交流を深めることができます。その中で、高齢者、経験のある人たちのサポートが役立つでしょうし。
- ・ 農家の近くの人が連携を持つと一番良いんだけど。
- ・ そうすると、高齢者の中に農業だけでなく、商業、工業の経験者がいるから、そういう知識が入ることになり、若い人になんかそういう知識を補うことができる。
- ・ 手段のキーワードに「連携」が入るんですね。
- ・ 成果は何ですかね。
- ・ 端的に言えば、経済の活性化なんですよ。
- ・ どういう経済の活性化かといえば、皆さん想いがあると思います。
- ・ 前にやった、地産地消というのもこれに入ってくるんですかね。他の市に買わないで、農産物は地産地消でやるとか。工業製品はいろんなところで作っているので、地産地消というわけにはいかないのでしょうか。農業はできるのかなと思うんですよ。あとは加工食品ですか。
- ・ 新しい事業をつくることと、今ある事業も継続していないといけない。
- ・ 成果は、新しい産業なり事業が立ち上がっていくということだね。
- ・ 「今ある資源を活かして、新しい松戸らしい地域産業を生み出す」ということですね。
- ・ 疲れるとまとまりますね。
- ・ 元気だといろいろな意見が出過ぎちゃう。

#### <政策17の「目的」の検討>

- ・ 終点は、産学官民連携のもと活性ある松戸市を作る、ということ全部入っ

やうんじゃないの。目的は、一番大きな単語掲げておけば良いのではないで  
しょうか。「産学官民連携のもと」

#### <政策17の「手段」、「成果」の検討>

- ・ 社会参加とは、どういう意味で書いたのでしょうか。
- ・ 具体的ではなくて、みんなが松戸市に参加している意識のもとで、という意  
味で書きました。
- ・ みんなが社会参加することでという感じでしょうか。
- ・ 社会参加とはボランティアということですか。
- ・ いえそうではなくて、ニートとかを少なくするということです。
- ・ 皆さんの意見を見ますと、働きやすさを追求するということですね。あと  
は、雇用をもっと生み出すということですかね。
- ・ 大きくわけて、若い人の話と高齢者の話に分かれていますね。
- ・ 手段で「若者が参加する」とありますね。若者に特化しているんですね。
- ・ 能力を発揮する場所を作るとか。
- ・ 市内での就業率を高めるという目的がある。よそ行ってたくさん稼いで住民  
税を納めても、市には関係ない。
- ・ 所得税は国税だから、たくさん東京で稼いでも国に持っていかれます。
- ・ となると、「松戸市内で」といれるということですね。
- ・ 市には、固定資産税等しか入りません。
- ・ 「団塊の世代の活用を生み出す」という意見を挙げたのですが、東京で働い  
た人が、松戸に戻ってきて働いてもらえるというイメージで書きました。
- ・ 今、そういう人があふれています。
- ・ 「松戸に住みたくなる」ことを実現するということですか。
- ・ 職住接近だと、気分の転換ができない。
- ・ ここでいう、団塊の世代の働き場所は、必ずしもフルタイムを想定していま  
せん。余暇がたくさんあるという前提があります。もう1つ、松戸の若い人  
が他へ行かずに、松戸で生計を立てられるのか一番良いわけです。

#### <政策18の検討>

- ・ 成果は、「ふるさと『松戸』の共有化を実現する」が一番まとまっている気  
がします。
- ・ 次に手段を考えましょうか。どういうことによって実現するか。
- ・ ハード面だけでなく、ソフトも必要だと思います。ゆとりを感じるというの  
は個人の感覚ですね。
- ・ 「少しずつ我慢をして」というのも、ソフトですかね。

- ・ 住民同士で、相手の立場を尊重することが必要だと思います。工業団地の方が先にあるのだから、後から来た人がそんなに文句言うなと思います。
- ・ 同じ商店街の中でも、なかなかまとまらない。
- ・ ゆとりを感じるまちづくりをするには、ある程度の単位の人がまとまらないとできない。どの程度尊重するかが問題である。
- ・ 個人の尊重は、お互いの個人を尊重するということです。
- ・ 目的を明確にして、皆がそれにまとまってくれないと。
- ・ 目的だから、そのために豊かな関係を作りましょうということでしょう。
- ・ ゆっくり歩ける道が少ない。だから、緑道の整備が必要だと書きました。歩行者専用道路です。
- ・ 大学、市民、行政が連携して草木の整備を進めていくとかですかね。
- ・ 「自然豊かなまち」は、成果になる。
- ・ 「文化的」と入れて欲しいです。松戸には文化があるので。
- ・ 産学官民を使いましょうか。
- ・ その言葉は、これからのキーワードになります。
- ・ 産業も地域社会の一員として、工場を建てるにしても、一定の規模以上のゆとり感のある建て方をしてもらうとかが必要でしょう。
- ・ 産業界も住環境に貢献していますよね。

#### ■ 次回の内容の確認

- ・ 本日検討した「目指したい姿の宣言文」を踏まえて、「指標」と「市民と行政のそれぞれの役割」を検討する。

#### ■ 次回分科会の日程の確認

- ・ 日時：平成 21 年 10 月 20 日（火） 15 時～18 時
- ・ 場所：別館地下 1 階研修室

#### ■ 分科会長挨拶

- ・ 皆さんが意見を自由に述べて、楽しかったといえるのが最高ですよね。次回も、さらに良い案が出せるように頑張りましょう。どうもありがとうございました。

#### ■ 別紙「宣言文検討用資料」「目指したい姿の宣言文一覧」

以上

## 政策16 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする

<p><b>目的</b></p> <p>(…に向けて、…のために)</p>	<p><b>手段</b></p> <p>(…を通して、…をすることで)</p>	<p><b>成果</b></p> <p>(…を実現する、…を生み出す)</p>	<p><b>その他</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバーカー・ベビーカーで安心して買い物ができる街づくり</li> <li>・豊かな社会</li> <li>・将来の若者のために</li> <li>・松戸の観光スポットになる</li> <li>・現産業が続けられるために</li> <li>・市内各駅周辺商業地の活性化に向けて</li> <li>・松戸市にふさわしい松戸駅に向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺商店街の集約と交通手段の整備(駅まで乗り入れのバス)</li> <li>・駅周辺の整備を通して</li> <li>・起業を志向、チャレンジする人の支援を通して</li> <li>・空店舗の有効活用を通して</li> <li>・矢切地区 農・観光・歴史を結んで活性化</li> <li>・官民業三者一体のプロジェクトを複数立ち上げ、知恵を結集し実現を目指す仕組みをつくる</li> <li>・松戸の新しい地域資源の創造のために</li> <li>・農商工官連携プロジェクトを各地域に立上げ地域の活性化、税収アップを実現</li> <li>・松戸の地域資源(農業・観光・歴史・人)の連携</li> <li>・緑地帯を作ることで</li> <li>・若い人に魅力あるまつどにするため、芸術村、技術街、ファッション通りをつくる</li> <li>・まつど農業振興プロジェクトを立上げ江戸川に美しい大規模複合農業を実現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が集まる地域振興、流動化防止、弱者にやさしい街</li> <li>・工業・農業と住民が共存できるまちを実現</li> <li>・人にやさしい松戸駅を実現する</li> <li>・活性化</li> <li>・矢切高校を情報発信センターにする、千葉大園芸学部・市民行政の協働</li> <li>・地域の活性化を実現する</li> <li>・経済効果</li> <li>・松戸市の経済の活性化を実現する</li> </ul>	

## 政策17 個性を活かし、能力を発揮して働くことができるようにする

<b>目的</b> (…に向けて、…のために)	<b>手段</b> (…を通して、…をすることで)	<b>成果</b> (…を実現する、…を生み出す)	<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・熟年者の活性化のために</li> <li>・個人の幸福</li> <li>・将来の雇用のために</li> <li>・働きたい人が働けるために</li> </ul> ※(直接書き込み)産学官民の連携による松戸市の活性化のために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業への採用義務付けと公共事業への活用促進、新しい事業立上げ</li> <li>・団塊の世代の活用を生み出す</li> <li>・まつど子育て110番、育児110番、出産110番を設ける</li> <li>・社会参加</li> <li>・若者が参加する</li> </ul> ※(直接書き込み)松戸市でだれでもが働きやすい環境をつくることによつて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き生きとした人生、健康的生活が得られる</li> <li>・松戸に愛着をもってもらう</li> </ul> ※(直接書き込み)松戸市に住みたくなること	

## 政策18 ゆとりを感じるまちに住むことができるようにする

<b>目的</b> (…に向けて、…のために)	<b>手段</b> (…を通して、…をすることで)	<b>成果</b> (…を実現する、…を生み出す)	<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑を増す</li> <li>・高齢化社会に向けて</li> <li>・快適さ</li> </ul> <p>※(直接書き込み)ふるさと松戸の共有化のために</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草花を植える</li> <li>・緑道を整備することで</li> <li>・常盤平団地改築計画を通して</li> <li>・少しずつ我慢をして</li> <li>・立場を尊重することで</li> <li>・分野別集積度の高いまちづくりで東京に行かなくてもまつどで満足を手に入れられるまちづくり</li> <li>・大学・市民・行政が連携することで</li> <li>・地域資源(川・緑)を活かす</li> </ul> <p>※(直接書き込み)産・学・官・民連携することで</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと「松戸」の共有化を実現する</li> <li>・福祉のまちづくりを実現</li> <li>・ゆっくりしたゆとりのあるまちを実現</li> <li>・市街地形成</li> <li>・住み続けられる街を実現する</li> <li>・官民協力</li> </ul> <p>※(直接書き込み)文化的で自然豊かなまちを実現する</p>	

## 政策19 誰もが安心してスムーズに移動できるようにする

<b>目的</b> (…に向けて、…のために)	<b>手段</b> (…を通して、…をすることで)	<b>成果</b> (…を実現する、…を生み出す)	<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して歩けるまちづくり、都市空間づくり</li> <li>・自転車で安心して移動するため</li> <li>・安心安全</li>   <li>・ハイテク福祉に向けて</li>   <li>・環境と人にやさしい交通手段の推進</li> <li>・自然災害を防ぐ(豪雨、地震)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人にやさしい道づくり</li>   <li>・歩道</li> <li>・歩行者専用道路を整備することで</li>   <li>・行政・大学と市民が連携することで</li> <li>・道路の整備、自転車専用道路</li>   <li>・市内の危険箇所を確認する必要な手段(工事等)</li> <li>・電柱等を地中化することで</li> <li>・福祉振興プロジェクトでは職員の給与水準アップ、黒字宣言を検討し、福祉のまち松戸を実現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備</li>   <li>・ライトモービルのまちを実現する</li> <li>・計画的な広幅員の防災幹線(みどりに注意)</li> <li>・人が安心して通行できる道</li>   <li>・CO2削減、健康づくり、静かな街の実現</li> <li>・住み続けられる街を実現する</li> </ul>	

## 政策20 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする

<b>目的</b> (・・・に向けて、・・・のために)	<b>手段</b> (・・・を通して、・・・をすることで)	<b>成果</b> (・・・を実現する、・・・を生み出す)	<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・清流江戸川とゆたかな自然環境の保持</li> <li>・清流</li> <li>・親しめる川</li> <li>・自然環境を守るために</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の整備と自転車専用道路の整備を通して</li> <li>・水上バスとレンタルサイクルを整備</li> <li>・貴方がつくる住みよい松戸</li> <li>・すべては個より始まる</li> <li>・地域協力</li> <li>・過去にとらわれない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清流江戸川、ゆたかな自然、一度は行きたい松戸市へ</li> <li>・ゆたかな自然環境と清流江戸川の保持</li> <li>・松戸の自然(財産)の共有化を実現する</li> <li>・市民の憩いの場の提供を実現する</li> <li>・働きかける</li> </ul>	

## 政策21 いつでも安心して水道水が使えるようにする

目的 (…に向けて、…のために)	手段 (…を通して、…をすることで)	成果 (…を実現する、…を生み出す)	その他
・健康な生活	・最新の技術を取りいれて ・大学・市民・行政が連携することで	・安全な水 ・「ふるさとの水」を日本へ発信させる	

目指したい姿の宣言文<一覧>

分科会	政策	目指したい姿の宣言文
魅力ある都市空間の形成と産業の振興	16 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする	若者に魅力ある松戸のまちづくりに向けて、産・学・官・民・年代間の連携を継続的な取組みにして、今ある資源を活かした、新しい松戸らしい地域産業を生み出す。
	17 個性を活かし、能力を発揮して働くことができるようにする	産・学・官・民の連携による松戸市の活性化のために市内で誰でもが働きやすい環境をつくることによって、本市に住みたくなることを実現する。
	18 ゆとりを感じるまちに住むことができるようにする	ふるさと松戸の共有化のために、産・学・官・民が連携することで、文化的で自然豊かなまちを実現する。
	19 誰もが安心してスムーズに移動できるようにする	人が安心して移動できるまちづくりに向けて、人にやさしい道を整備することで、長く住み続けられるまちを実現する。
	20 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする	清流とゆたかな自然環境の保持に向けて、川に親しめるような整備をすることで、市民の憩いの場を実現する。
	21 いつでも安心して水道水が使えるようにする	市営水道地域で、これからも、いつでも水道水が使えるために、災害に強い施設を整備することで、引き続き、いつでも使える（いつでも安定した）飲み水を実現していく。